



「体験型森林環境学習」を提供



活動の場所

福島県西白河郡
西郷村大字真船字村火



活動目的

村火社有林（福島県西白河郡西郷村所在地）を活用し、三菱製紙グループのサステナビリティ推進活動として、「体験型森林環境学習の場(体験型学習、森の調査・研究)」を提供し、生物多様性保全に貢献しています。

活動内容

体験型森林環境学習



樹木の計測体験、植樹・育樹体験

講義と社有林を利用した観察・計測・植樹・育樹、ものづくり体験としての紙すき・ペーパークラフトなどを組み合わせて、自然と産業のコラボレーションをテーマとして森林保全、地球温暖化防止、生物多様性について考え、SDGsに貢献するプログラムを提供しています。

森の調査・研究



カメラ観察、土壌動物調査、野鳥観察

社有林をフィールドに樹木生長量調査、トレイルカメラによる動物調査、土壌動物調査、野鳥調査など森林生態系や生物多様性調査に継続的に取り組んでいます。

PRしたいポイント

- ・人と地域を結びつける持続可能な社会づくりに貢献する体験型森林環境学習の場を提供しています。
- ・村火社有林は環境教育等促進法に基づく「福島県体験の機会」に認定されています。

活動効果、今後の展開 等

- 樹木生長量調査、トレイルカメラによる動物調査、ピットフォールトラップ法による土壌動物調査、野鳥調査など森林生態系や生物多様性調査に継続的に取り組んで参ります。
- 地域住民をはじめとした様々なステークホルダーとの協働関係を継続し、生態系の維持、管理に取組み、環境学習の場を提供致します。